

盾など副賞として授与 ミス世界大会で金子代表

石垣焼窯元

21日に那覇市の県立武道館で開かれた第52回ミス・インターナショナル世界大会 in

沖繩2012(同開催実行委員会主催)で、石垣焼窯元の金子晴彦代表が副賞の盾とペン



副賞の石垣焼の盾をミス・インターナショナルの末松育美さん(左)に手渡す金子晴彦代表。21日夜、県立武道館(石垣焼窯元提供)

ダントを該当者に手渡した。

同大会の副賞に八重山の作品が採用されるのは初めて。

ペンダントは2種類あり、チェーンの部分に銀、トップにダイヤをあしらった特注品を盾とともにグランプリから4位の受賞者に授与。5位以下の参加者にはチェーンの部分が

レザーのペンダントがアンバサダー賞として手渡された。

金子代表は「石垣焼を渡すことができて幸せ。世界を回る際、皆さんに身につけていただき、たくさんの幸せを世界中に伝えてほしい」と胸の内を語った。

来場者からは「素晴らしい焼き物が副賞として渡されることを沖縄の人間として誇りに思う」という声も聞かれ、金子代表は「これから沖繩の発展のために精いっぱい頑張っていきたい」と抱負を述べた。